

第 45 回理事会 議事録

1.開催日 2024年12月1日(日) 14:00:~17:15

2.開催方法 ZOOMによるオンライン会議

3.理事 20名中16名が出席し、定足数を満たした。

(出席)愛場庸雅 村越 真 鹿島田浩二 高島和宏 信原 靖 奥田健史 糸 早穂 小林 力 佐藤大樹  
源後(皆川)美紀子 市橋国之 吉村年史 野中好夫 茅野耕治 中野智美

(報告事項から出席) 遠藤陽太

(欠席)大野(山本)徳子 加納尚子 浴本悠貴 千葉望央

監 事 (出席) 齋藤宏顕 (欠席) 齋藤和助 中川義宏

顧 問 前田(大里)真理子 杉山隆司

事務局 小野賢二 上松典子(記録)

議 長 定款第32条により、愛場理事を指名した。

・愛場議長は議長就任にあたり、表決には加わらないこと、但し賛否同数の際に表決を行うことを表明した。  
従って今理事会での愛場議長の表決は全議案棄権票として扱う。

#### 審議事項

第1号議案 デフリンピック準備委員会 委員会名称変更と委員の追加の承認(奥田業務執行理事)

デフリンピック開催まであと1年となり、以下の通り委員会の名称変更及び委員を追加したい。

【委員会の名称変更】(現)デフリンピック準備委員会 (新)2025 東京デフリンピック委員会

【委員の追加】鈴木 恒久(会計)/伊地知 淳(コースプランナー(アーバン))/小牧 弘季(コースプランナー(フォレスト))/大場 隆夫(競技計測責任者)/高村 卓(モデルイベント責任者、地図担当者)

以上、審議の結果、出席理事総数15名のうち賛成14名、反対0名、棄権1名により原案を承認した。

第2号議案 日本ランキング規則改定の承認(糸業務執行理事)

日本ランキング規則において下記1点を改訂したくご承認いただきたい。

(1)2項ランキングの種別に「無差別」(全年齢を対象)のランキングを追加する。

改定理由は日本学連技術委員会からの要望によるもの。改定時期は承認次第適用する。

以上、審議の結果、出席理事総数15名のうち賛成14名、反対0名、棄権1名により原案を承認した。

第3号議案 トレイルO競技規則改定の承認(高島業務執行理事)

IOFトレイルO競技規則に合わせ、国内フットO競技規則との表現の統一を図るため、トレイルO競技規則の全面改定を実施した(改訂案については競技委員長にも内容は照会済み)

以上、審議の結果、出席理事総数15名のうち賛成14名、反対0名、棄権1名により原案を承認した。

第4号議案 WMG2027とWMOC2027の併催の条件の承認(愛場副会長)

WMG2027 関西においてWMOC2027を併催するための、WMG組織委員会ならびにIOFとの契約締結の条件についての承認を得たい。条件の中に「IOFにWMOC認定料€100,000を支払う」という条件があり、参加者からエクストラフィーを徴収して賄う予定であるが、参加者数が少ない場合にはJOAに金銭的負担が生じる可能性がある。

以上、審議の結果、出席理事総数15名のうち賛成14名、反対0名、棄権1名により原案を承認した。

第5号議案 日本ワールドゲームズ協会(JWGA)加盟の承認(鹿島田業務執行理事)

ワールドゲームズ競技の普及や支援を行う日本ワールドゲームズ協会(JWGA)への加盟について、条件付きの承認を願いたい。加盟費用は5万円/年

以上、審議の結果、出席理事総数15名のうち賛成14名、反対0名、棄権1名により原案を承認した。

第6号議案 JOA-WMG2027 実行委員会設立と実行委員会規程の改定の承認(愛場副会長)

ワールドマスターズゲームズ(WMG)2027 関西におけるオリエンテーリング競技の運営について、JOAとしての準備委員会を設立する。WMG2021の際の委員会からの名称の変更と規定の改定についてご承認いただきたい。

(現)「WMG2021 関西 JOA 実行委員会」

(新)「日本オリエンテーリング協会・ワールドマスターズゲームズ 2027 関西実行委員会」

実行委員会委員長：愛場庸雅/委員：尾上俊雄、橋本裕志、平島俊次、村越久子、山本賀彦(JOA 事務局)

顧問：山西哲郎 / 監事：人選中

以上、審議の結果、出席理事総数 15 名のうち賛成 14 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認した。

第 7 号議案 普及・指導委員会委員追加の承認(信原業務執行理事)

普及・指導委員(NI 小委員)の大西氏が先日他界された。後任として委員 1 名を追加承認いただきたい。

北村 憲彦(きたむら かずひこ)氏 名古屋工業大学教授

以上、審議の結果、出席理事総数 15 名のうち賛成 14 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認した。

第 8 号議案 委員会規定改定の承認(信原業務執行理事)

委員会名称の変更に合わせて規程の変更

・「東京 202 デフリンピック準備委員会」から「東京 2025 デフリンピック委員会」へ

・「WMG2021 関西 JOA 実行委員会」から「日本オリエンテーリング協会・ワールドマスターズゲームズ 2027 関西実行委員会」へ名称変更にあわせて規程を変更する。

以上、審議の結果、出席理事総数 15 名のうち賛成 14 名、反対 0 名、棄権 1 名により原案を承認した。

報告事項

1)業務執行理事報告(普及担当)(信原業務執行理事)

①地域活性化委員会に関すること

- ・ふるさと登録を利用した会員支援について
- ・2025 年度の会員支援金の申請手続きについて
- ・人的支援、北海道・東北ブロック内の会員支援について

② 普及・指導委員会に関すること

- ・コーチ資格の今後の進め方について
- ・インストラクタ資格の今後の進め方について
- ・オリエンテーリング検定について
- ・JOA 登録について

③ その他 財務 WG、総務委員会(委員会規程の再編について)、JSPO 及び各都道府県協会の体育・スポーツ協会の加盟について

2)業務執行理事報告(技術担当)(高島業務執行理事)

全体として、担当委員会委員の交代を促し体制を変えた。各委員会の報告は以下の通り。

①競技委員会 委員の交代、競技規則・ガイドラインの随時改訂、イベントアドバイザー講習会の開催

② 地図委員会 委員の交代(委員長+副委員長、各競技の委員長を充て職として委員に任命)

③ 国際委員会 IOF 総会 杉山隆司氏は理事に当選 アジア連盟会長に村越副会長

④ 国際大会 AsJYOC2025 年愛知県開催・WSOC2026 北海道開催・WMG/WMOC2027 兵庫県開催

3)業務執行理事報告(大会担当)(奥田業務執行理事)

①全日本オリエンテーリング大会実行委員会

- ・ランキング規則改定
- ・ミドルロング 2024 大会(岐阜県恵那市) 参加者数 2,133 名(ロング 1,050,ミドル 1,033)
- ・2025 年大会は栃木県那須塩原市で 10/4-5

②スプリント委員会

- ・全日本スプリント 2024 年度:現在他大会との共催も含めて検討・調整中。
- 2025 年度:関西地区での開催に向けて涉外中。2026 年度:東京都で開催予定。初期涉外中。

④ 全日本リレー委員会

- ・2024 年度 12/8(三重県津市) ・2025 年度 11/9(滋賀県高島市)開催予定
- ・2026 年度以降 開催候補地の県協会と調整中

⑤ デフリンピック準備委員会

大会運営実務を担当するデフリンピック委員会への変更と委員の追加

4)業務執行理事報告(総務担当)(条業務執行理事)

- ①総務委員会 寄付金・ふるさと納税 JOA 公式 SNS の管理
- ②事務局 主な担当業務と就業時間等の報告、今後開催の国際大会についての業務対応の増加、課題として予算組み立て運用の確率、会計システム処理の業務振分による経理数値の見える化
- ③ アスリート委員会 強化委員会への要望書提出、選手からの意見対応、競技委員会との意見交換会
- ④ 女性委員会 委員候補者選考委員会対応
- ⑤ 財務報告 JOA\_FY2024 上半期中間報告を参照

5)AsJYOC 準備進捗状況の報告(高島業務執行理事)

開催日:2025 年 8 月 26-31 日 開催場所:愛知県設楽町

準備は順調に進んでいる(試走 2 回済み、競技地区はほぼ完成) HP も公開されている。

競技情報については選手強化関係者も理事に含まれる為、報告は省略する。

6)IOF 理事会への出席について(村越副会長)

IOF 理事会と委員会とのジョイントミーティングに出席する経費について、日本から推挙した杉山氏の旅費は所属連盟負担になっている。今回は自費で参加するが、今後の検討をお願いしたい。

7)AOA 理事会報告(村越副会長)

11 月 14 日に開催。IOF 理事として杉山氏、JOA 業務執行理事の条氏がオブザーバーとして参加。

IOF との覚書の締結、今後のアジア地区での国際大会開催、スキー O 活動についてなど。

8)デフ関係報告(野中理事)

- ①令和 6 年度「デフリンピックチャレンジ東京デフアスリート」認定選手及び「デフリンピックチャレンジ東京デフスポーツスタッフ」公認スタッフ決定
- ②辻悠佳さんがメディアに登場
- ③日本チームへの公演、体験会依頼への対応
- ④事務局の 2 分化

9)全日本スプリント大会の開催について(奥田業務執行理事)

本年度の全日本スプリント大会は、2025/2/9(日)に光が丘地区(東京都練馬区)で開催予定であったが渉外上の理由により光が丘地区での開催は不可能であるとスプリント委員会が判断した。

スプリント委員会では、本大会に替わる代替開会の開催を模索中。

10)AsOC への運営補助者の派遣(村越副会長)

JOA からの派遣予定者として IOF の EA 資格保持者である坂野翔哉氏を派遣。

派遣経費については同目的を使徒とする寄付金を活用する。

11)JOA ニュース冊子郵送廃止と有償販売開始および 100 キロコンペ認定料値上げについて(事務局)

財務改革対応で無償での個人宛の JOA ニュース冊子印刷、郵送を 2025 年 1 月分より廃止。

会員には次回分は送付する。

100 キロコンペ認定料現状 200 円/件を 500 円/件に値上げ

討議・意見交換

1) 財務改革について(村越副会長)

財務改革 WG の報告:現在の財政状況について上半期の予算進捗状況報告なども参考に説明された。

増収案について:理事からの意見を募った。増収策と経費削減の両方が必要。登録料の値上げ等も視野に今後も検討していくこととする。

2)新宿区支援金使途報告について

全日本スプリントの地図代、公認大会のメダル代、JOA ニュースの作成費用、救護用品の補填費用等が上がっている。

3)JOC、JSPO 理事推薦について(事務局)

2年に1回改選。理事 ML に推薦依頼文を転送するので、推薦者がいれば事務局にご連絡いただきたい。

4)会長人事について(大里顧問)

候補者2名のうち1名に打診中。回答は年内にもらう予定。回答次第で2人目の候補者に打診する。

5)令和7年度予算組み立て運用方法について(村越副会長)

来週、各委員会に対して予算組み立て運用方法について説明を行う予定。

6)その他(村越副会長)

名誉総裁について今後各ブロックで説明会する場がある際には、村越副会長もオンライン等で参加予定。

次回理事会は2025年2月中(未定)

本日のオンラインシステムを併用した会議は、終始異常無く議題の審議を終了したのを確認した。

第45回理事会議事録 以上

2024年12月1日

公益社団法人日本オリエンテーリング協会

議事録署名人

議長

代表理事「副会長」 愛場 庸雅 印

議事録署名人

監事 齋藤 宏顕 印